

# 令和元年度(2019年度)ほっかいどう学力向上推進事業 子どもの学力・生活習慣改善研修会

オホーツク  
会場

## 概 要

主 催：北海道教育庁オホーツク教育局、北海道PTA  
連合会、オホーツク東部地区PTA連合会、斜  
里町PTA連合会  
日 時：令和元年11月9日(土)9:30～  
場 所：斜里町公民館ゆめホール知床  
内 容： 9:30～ 開会  
9:45～ 講演  
11:15～ 質疑応答・感想交流  
11:45～ アンケート記入・閉会  
参加者：130名  
※本事業は、令和元年度オホーツク東部地区PTA連  
合会研究大会と兼ねて実施しました。

## 御講演いただいた先生

旭川赤十字病院小児科部長  
諏訪 清 隆 氏

「子どもとメディア」代  
表を務め、多くの地域で保  
護者や教職員、行政関係者  
等を対象に講演を行っており、「内容が分かりやすい。」  
と評判の高い先生です。



## 講 演 内 容

### 長時間の電子メディアへの接触の影響

- ・言葉の発達の遅れ……日本小児科学会の調査から、テレビの長時間の視聴により、言葉が遅れることが分かっています(周りでテレビが長時間ついている環境でも!)
- ・体力の低下……2～3歳から小学校低学年頃までが、基本的な運動を獲得する重要な時期です。運動体験の減少は体力に影響します。
- ・視力の低下……ピント調節異常(スマホ老眼)や両眼視機能の低下などの影響があります。
- ・生活習慣への悪影響……LINEなどで睡眠不足→朝起きられない→朝食を食べない→日中は調子が出ない→夕方から調子が出て夜更かしする→・・・悪循環に陥ります。
- ・学力の低下……全国学力・学習状況調査の結果から、平日の携帯電話・スマホ使用が長いほど平均正答率が低いという相関関係が分かっています。
- ・ネット・ゲーム依存……中高生のネット依存は5年間で約2倍に増加していますが、治るのは2人に1人という状況だそうです。
- ・ネットトラブル……遊びのつもりでも事件や犯罪に発展することがあります。

### 私たち大人はどうすればよいのか?

- 子どもに悪影響が出ないよう、見守り、コントロールする!(ルールをつくるなど)
- 子どもが自立して行動できるようサポートする!(保護者が正しい知識をもち、手本となる)

### 諏訪先生からのメッセージ

テレビやゲーム、スマホよりもっと楽しい体験や家族で過ごす機会をたくさんつくってください。子どもたちと共にできる時期は長くありません。一緒に過ごす時間を大切にしてください。

## 演習(質疑応答・感想交流)

質疑応答では、子どもの体力や発育に関わる質問がありました。その後の感想交流では、近くの参加者同士で感想や驚いたことなどを交流し、学習内容を再確認しました。



オホーツク教育局からは、管内の課題である「家庭学習の習慣化」についても参加者に説明し、協力をお願いしました。

## アンケートから

- ・メディア依存の怖さ、小中高生への影響など大人も含め、子どもたちを守るために何か対策をたてなくてはと、講演をお聞きして強く感じました。
- ・ほかの保護者の方と感想交流をして、同じ状況のお子さんがいると分かったことがよかったです。
- ・大変勉強になりました。詳しい知識も大切ですが、正しい知識で子どもたちへの指導に当たりたいと思います。ありがとうございました。
- ・今日学んだことを伝えながら子どもと話し合っ、ゲーム、スマホ、メディアと良い関係をつくっていきなと思いました。